

新たな住宅セーフティネット制度がスタートし、5年が経過しました。住宅確保要配慮者の方に対して入居前支援や入居後の支援を行う居住支援法人は年々増え、活動も様々に展開しています。一方で、地域における居住支援体制や連携体制を構築する一つでもある「居住支援協議会」については、道内で設立されている市町村は少ない状況です。今回の研修会では、先進的に取り組んでいる神奈川県座間市の居住支援の取り組みについて学ぶとともに、道内の先進事例として札幌市や本別町の居住支援協議会の取り組みについてもお話を伺います。さらに、北見市や帯広市における居住支援に関する地域の連携状況などについてもご紹介いただきます。参加者(会場)とのディスカッションや質疑応答では、コメンテーターとして NPO 法人ワンファミリー仙台の立岡学氏に加わっていただき、体制づくりのきっかけや進め方などをより実践的にお話いただきます。研修会を通じて、居住支援協議会の設立や連携体制をどのように進めていけば良いのか?の「ヒント」や「きっかけ」につながればと考えています。

日時：2023年 **11月30日(木)** 14:00～17:00

場所：かでの **2.7 710号会議室**
(北海道札幌市中央区北2条西7丁目 道民活動センタービル)
※原則、会場集合とします。(ZOOMでの参加も可能です)

先着 **50名**
参加費無料

プログラム

第1部 「座間市の居住支援の取り組みについて」

講師：座間市地域福祉課自立サポート係長 **武藤 清哉 氏**

第2部 「北海道内での居住支援協議会

・居住支援の取り組み」

①札幌市居住支援協議会の取り組みについて

発表者：札幌市都市局市街地整備部住宅課 住宅企画係長(札幌市居住支援協議会事務局) **勝見 元暢 氏**

②本別町居住支援協議会の取り組みについて

発表者：本別町役場保健福祉課 主事 **山岸 右弥 氏**

③北見市の居住支援に関する連携状況などについて

発表者：北見市都市建設部公営住宅管理課 事業・債権係長 **金子 祐大 氏**

④帯広市の地域における連携の必要性や現在の取組について

発表者：帯広市生活支援第1課 総務支援係長 **佛田 憲幸 氏**

第3部 会場とのディスカッション(質疑応答等)

コメンテーター：NPO 法人ワンファミリー仙台 理事長 **立岡 学 氏**

プロフィール

武藤 清哉 氏

平成24年に座間市役所へ入庁し、平成31年から生活困窮者自立支援制度担当部署で相談支援業務へ従事しています。

●座間市の取組概要

座間市では、「断らない相談支援」を相談支援の中心に据えて、相談から始まる支援体制の構築に努めています。住まいの支援においては、令和元年度から居住支援推進事業(後に一時生活支援事業)の実施、令和3年度に居住支援協議会の設立などを行いました。

立岡 学 氏

平成14年にホームレス支援の団体としてワンファミリー仙台を設立し、平成18年にNPO法人化して以来、理事長を務めています。

●NPO 法人ワンファミリー仙台の取組概要

路上生活者とともにゴミを拾うボランティア活動に始まり、その後、緊急一時的に衣食住を提供するシェルター、自立までを支援する無料低額宿泊所、自立準備ホーム等の更生支援事業、グループホーム等の障害者支援事業等を展開しています。平成30年に宮城県より居住支援法人の指定を受け、宮城県居住支援協議会をはじめ関係団体、行政とも連携をしながら活動を継続しています。

